

知的財産への取り組み

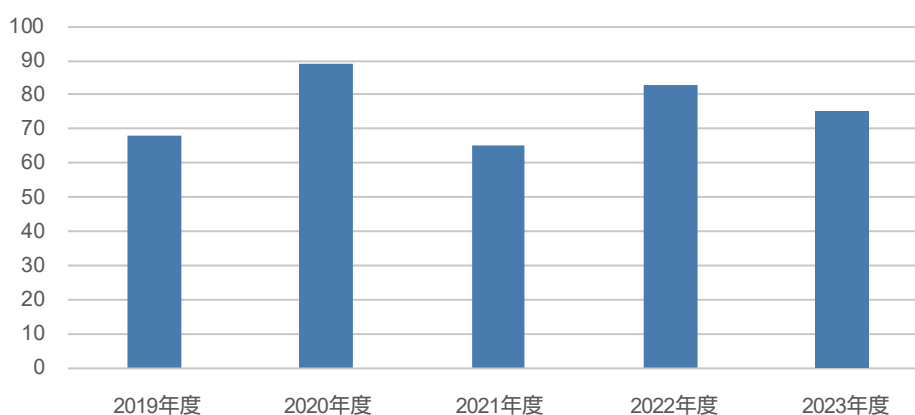
クリモトグループでは、知的財産を経営資源の欠かせない要素の一つとして位置づけ、新たに創出された技術開発成果の積極的な権利化およびその活用を推進するとともに、他社の知的財産を尊重することを通して、企業活動の持続的な発展に努めています。

特許出願の状況

当社では、先行調査から発明発掘、権利化までの活動を同一の知的財産部員が一貫して担い、事業部門と知的財産部門とが緊密な意思疎通をとることで、技術開発成果の迅速かつ漏れのない権利化を支援しています。

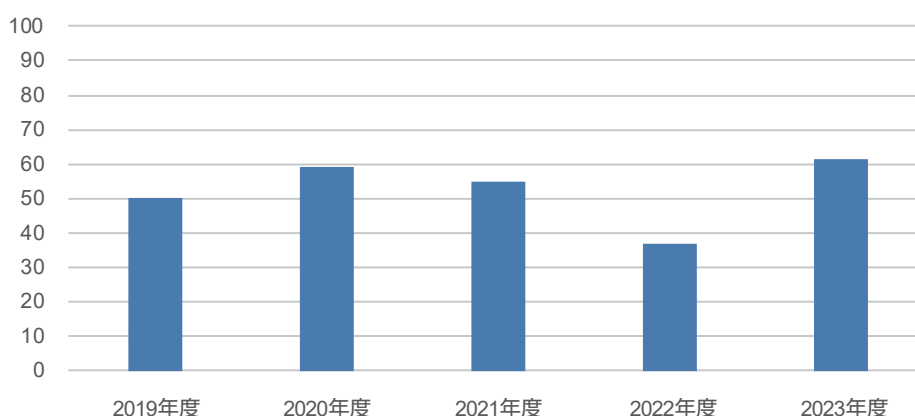
今後も事業部門と知的財産部門との連携をさらに深めながら、経営戦略と一体となった知的財産活動を実践してまいります。

特許公開件数の推移



※「特許公開件数」とは、出願公開制度により出願から約 18 カ月後に公開された件数。

特許登録件数の推移



※「特許登録件数」とは、特許出願が審査を経て特許権として成立した件数。

クリモト“IP”ROAD

IP: 知的財産 (Intellectual Property)

クリモト“IP”ROADでは、クリモト技報で紹介した内容から1つのトピックをピックアップし、知的財産の観点からその歴史を紐解きます。

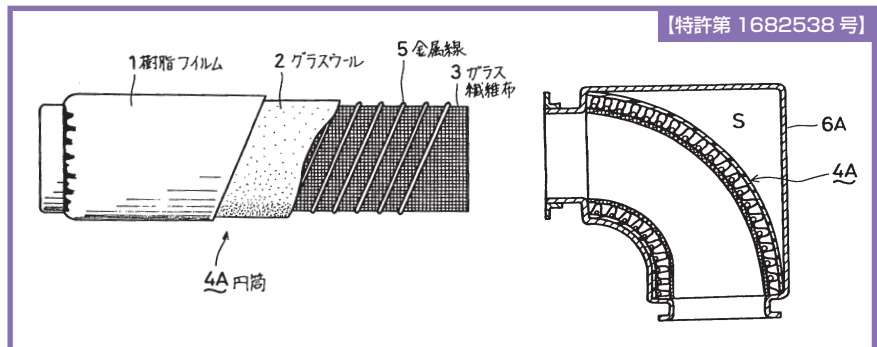
本号の「クリモトROAD」では、当社建材事業部の「消音」関連の事業における、事業創生期から現在までの製品の移り変わりや、高性能製品の開発をサポートするユニークな音響技術研究所について紹介しました。

「クリモト“IP”ROAD」では、当社「空調用消音器」に関連する知財を振り返ります。

通気抵抗低減に着目した空調ダクト用消音器の知財

消音器の最初の特許は、消音性能ではなく通気抵抗低減を特徴としたダクト構造に関する発明でした。

エルボなどの曲がり部で通気抵抗が顕著に増える対策として、消音ダクト内表面のガラス繊維布外側に金属線をらせん状に巻き付ける構造を開発し、当社消音器の最初の特許権を取得しました。

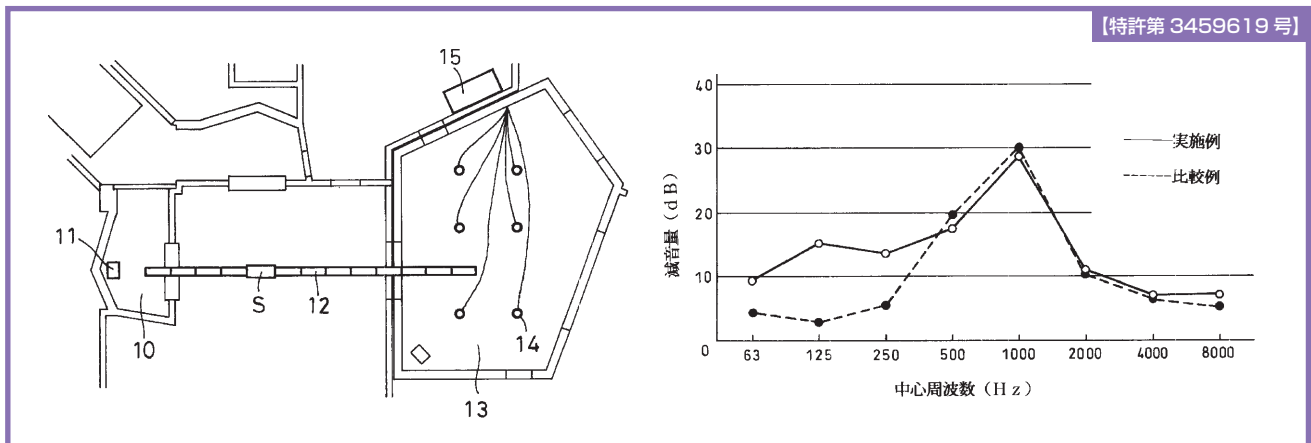


【特許第 1682538 号】

消音性能を向上させた空調ダクト用消音器の知財【音響技術研究所を活用した知財】

音響技術研究所によって、消音器の消音性能をより向上させることに成功し、その結果さまざまな発明が誕生しました。

この特許は、高周波騒音は吸音材に吸収、低周波騒音は消音器の外板に用いたパンチングメタルの隙間から放出させることで、消音性能を向上させた消音器の発明です。この特許公報には、従来の消音器よりも低周波騒音の消音効果が高いことが一目でわかるデータ（下記グラフ左側参照）を掲載しています。このデータが特許取得に大きく貢献した、と言っても過言ではないと考えています。



【特許第 3459619 号】

「空調用消音器」に関連する知財を振り返りましたが、音響技術研究所は当社「消音技術」をさらに向上させ、特許、意匠など知的財産権の取得に貢献してきました。現在はその消音技術を換気シャフト用サイレンサや高速道路の遮音壁にも展開し、知的財産権も多数保有しています。消音技術は騒音防止対策として皆様の暮らしに役立つ技術であると考えています。今後とも技術開発や知的財産権の取得を通じて社会に貢献できるよう努めてまいります。



【特許第 3459619 号】の製品実物

クリモト技報 No.45 号、ハイブリッドサイレンサより